

DOKU-GAKU 掲示板

今一番好きなテレビ番組は？と聞かれたら「朝まで生テレビ」と答えます^^)

もともと結論の出ない事をごちゃごちゃ論じるのが好きなタイプではありますが、

うさおなんかはこんなしょーもない番組、と一刀両断です。

連日テレビをにぎわす民主党小沢幹事長問題もちろん先月の議題に上りましたが、

パネリストの元東京地検の郷原さん、あの人の話を聞いた人と聞かない人では

小沢問題に対する考え方が違ってくるような気がします。

郷原さんはなぜ他の民放テレビに登場しないのか不思議でなりません。

フェアじゃないじゃん、と思うのはすでに何かを刷り込まれちゃってるんでしょうか？

ところで、最近話題のニュースに貴乃花親方の理事選出馬がありました。

相撲界に危機感を感じての出馬が何かを動かし、番狂わせと言われる理事当選。

その後、1票を投じた安治川親方の覚悟の会見。信念を持つ人たちの姿はとても感動的でした。

それに比べると政治の世界はどっちを向いても同じ顔があるだけみたい。ニューリーダーが現れない。

せつかくの政権交代。なにかが変わったという実感、変わるだろう予兆が感じられるといいのですが。

《映画クイズ解答》

前号解答は②番。みなさん応募ありがとう！

さて今月の賞品は、少し前の作品になりますが、さだまさし原作「解夏」メモ帳、韓国映画「親切なクムジャさん」お化粧品セットです。たくさんの応募待っています。



うさお

企画・エコな生活

dokugaku の皆さんが実践しているエコな生活と言うよりは、貧乏ネタを披露している。

まともに取り組んでいるのは日出彦さんと矢澤さん。日出彦さんは環境学の学問的に、
矢澤さんは常日頃の心掛けと今月の企画のねたにまでして論じている。紙面が足りない？

音の心理学・予告編

これはいかんぞ。大体、タツオトさんにしろ、矢澤さんにしろ tomy さんにしろ、
音楽については一家言も、二家言もある人たちばかり。なにかうさおも音の専門家と
しての音響ネタを披露しなくては…え〜〜と…え〜〜と…え〜〜ん！！

トマソン隊じゃないから・関帝廟編

横浜中華街は横浜に住んでいる人には、元町、山手と並んで知っているだけで
得意になれる町だ。関帝聖誕のお祭にカメラを向けるのは、横濱っ子ぽくなく、
お上りさん見たいで恥ずかしく人に紛れて撮ったけど、何だかどきどきした。



ケータイシャシンカン

会員の名前にちなんだお店を探して来ようという企画第2弾だ。面白い。こんな名前はお店の名前にしないだろうと思うのは、素人考えだ。何だってありなんだ。現代って社会は……。う～ん、問題は日出彦さんだけなんだよね。



映画カレンダー

思うのだが、これだけ映画を見て記憶に残るのだろうか？学生時代のうさおは現実逃避の一助として映画館に入って、ただ時間を潰していたが和ちゃんはどうも感動を記憶に留めようとしているらしい。人間は忘れる動物だし…難しそうに思える。



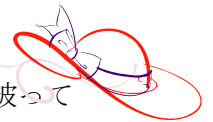
17文字の抒情詩

最近顔色が悪いねと言われる。血の気があまり無いのだそう。身に覚えがある。夜十分に眠れない、胃が痛くて眼が覚めてしまうのだ。癌なんじゃないだろうか？そんな思いを詠んでみました。だから全体的に気持ちがブルーです。健ちゃんもうさおも病弱。



ビーズな毎日

とみに絵画づいてしまったビーズ作品。ビザンチンあたりや銭湯にあったモザイクタイル絵に思いを馳せちゃったな。(随分の隔たりがあるようですが) どちらも水を被っても埃が被っても永遠に色あせないんだって。ビーズも硬質だから色褪せないで残るのか。



トマソン隊じゃないから・ライ鑑識隊編

すいません。家の周りにあまりにも最近放置された塵が多くて、皮肉の積りで特集して見ましたが、(何しろ町内の組長さんなので、塵は所定のところに捨てましょう) これはゴミ収集車が市の規程で選別して持っていないことも影響していそう。



ミスチルぱがぼんど

Caccoの高校時代の友人？だったかで、クラス会で再会した加藤さんは、耳かき職人として第二の人生を成功している人だ。うさおはどうか？趣味が職業の域まで達しているものはあるのか？tomyさんのジャズ歌手デビューはあるかもだが…。



読書リスト・勝手にチョイス

伊坂幸太郎…凄い人気の作家さんだそうだが、最近図書館に本を借りに行かないので読んだことがない。面白い作家さんらしい。よくTVドラマに名前が出ているよね。何か歳をとるに従って、余暇に時間を割く暇が無くなってきちゃった。本が読みたい。



掲示板

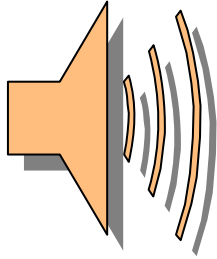
いや、うさおが編集後記のようにこまめに書きすぎる所為か掲示板に投稿が少なくなっちゃた。呼び水の積りで書いていたら、いつの間にか他を排していたようだ。いかん、皆さん、掲示板に読後感をお寄せくださいませ。くもじいをお願いじゃ。「空から日本を見てみよう」の番組のように上から目線だったかのう…。



表紙は語る

表紙は何も語らない。だって、全部どこからかのパクリだもの。ある歌唄いの思いを恋々と述べているだけで、dokugakuの読者にとっては迷惑でしかない。ねっ！





公開質問コーナー

矢澤洋爾さんからみなさんへ公開質問です。

・動物に無駄と贅沢があるのだろうか？

猫が日向でうとうとしている。あれは無駄か贅沢か？

メタボに悩む猿がいると聞く。その猿は贅沢三昧の生活を送ったのだろうか？

・安酒を飲むのと大吟醸酒を飲むのでは贅沢の度合いが違うのだろうか？

贅沢にもランクがあるのか？

安酒を飲むのは贅沢とは言わないのか？言わないとすればどうしてか？

・文化は贅沢から生まれる。観光名所の殆どが贅沢が生んだものだ。

文化と贅沢の本質的つながりはどこにあるのだろうか？

・ジョギングの不思議

家から1 kmほど離れた公園へ良くジョギングに行く。池をまわる形で一周600 mのジョギングコースがあつて、水鳥などを見ながら走ると気持ち良い。その公園へ行く道が問題だ。つつい無駄のないように近道をしようとしてしまう。おかしなことだ。どうせ公園をグルグル回るなどというのは無駄に限りなく近い。遠回りかも知れないが普通の道を通って、公園を回る回数を減らせばいいのに。そう思いながら、また今日も近道をしてしまう自分が不思議でならない。

回答待っています！

次号のDOKU-GAKU勝手にチョイス！

かずくんからのリクエスト「伊坂幸太郎映画化作品」です。

- ・ 陽気なギャングが地球を回す (2006年5月13日公開)
- ・ アヒルと鴨のコインロッカー (2007年6月23日公開(宮城県は5月12日先行公開))
- ・ 死神の精度 (2008年3月22日公開)
- ・ フィッシュストーリー (2009年3月20日公開)
- ・ 重力ピエロ (2009年5月23日公開(宮城県は4月25日先行公開))
- ・ ラッシュライフ (2009年6月13日公開)

- ゴールデンスランバー(2010年1月30日公開)
- グラスホッパー(詳細不明)

ドラマ化 チルドレン (監督:源孝志)



DOKU-GAKUでは過去に「終末のフール」を取り上げていますが、かずくんからのリクエストで再度伊坂幸太郎氏を取り上げてみます。2000年の作家デビューから10年目にして映画化された作品は8本、これから公開待ちの作品が1本。ここまでかれがウケる理由はなんなのか?伊坂作品を読まれた方、映画を観た方、みなさんからの感想お待ちしております。

では次回企画のお知らせです。

次回企画は「わたしのファッションテーマ」です。

内面の美しさが大事といっても、見た目だってやっぱり大事と思うときもあります。あのブランドじゃなきゃいやという方から、なんだって着れるものならお構いなしという方まで、あなたのファッション哲学お聞かせください。

今号DOKU-GAKU2010年初頭号は、60号到達号でもあります。

積み重ねてきたものが数字という形ではっきり表れるのはうれしいものです。

100号を目指して2010年のスタートです。

では3月標準号 Vol. 61号をお楽しみに!

2010年2月10日発行

発行人 読書を楽しむ会

印刷・製本 M's factory